

計画事業番号	00231	事務事業名	学校放送設備整備事業	担当部署	教育部教育総務課	電話	4813
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	小・中学校学習指導要領				
事務事業開始年度	昭和54年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 2 節) 信頼され、魅力ある学校づくりの推進	
	(施策 2) 教育環境の整備	
2 対象	市立小中学校	
3 目的と内容	学校の放送設備や視聴覚設備の老朽化に伴う整備や時代に合った設備に更新することにより、設備を有効に活用し、教育活動の充実を図る。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して、継続的に更新を行う。 28年度は北の台小学校放送設備を更新
	29年度	昨年度同様であるが、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して、継続的に更新を行う。 29年度は東部中学校放送設備を更新予定

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
学校放送設備の更新	北の台小学校放送設備を更新	東部中学校放送設備を更新予定	大曲東小学校放送設備の更新	学校放送設備の更新

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	市内学校の放送設備を時代に合った形で更新するため、計画的に実施していく。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			9,785		9,999		20,000		20,000	
事業額	直接事業費	国支出金	8,400		8,800		18,000		18,000	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	1,000		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	385		1,199		2,000		2,000	
	① 合計	9,785		9,999		20,000		20,000		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			10,625		10,839		20,840		20,840	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①更新計画学校数	目標値 実績値	校	1 1	1	1
	②更新実施学校数	目標値 実績値	校	1 1	1	1
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	最新の放送設備導入により、児童生徒の学習意欲の向上、教育の質の向上が図られている。また、通常の放送以外に非常時の緊急連絡に欠かせないものであり、学校設置者である市が積極的に更新を行っていくことが必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	最新技術を活用した教材の視聴や、自主放送の制作などにより、児童生徒の表現力や学習意欲の向上に寄与するものである。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	各学校の整備状況や現状を把握していくことで、今後の設備更新の検討を行い、教育環境の充実を図っていく必要があると考える。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	財源の大半を国庫支出金で対応しており、現状からのコスト削減は難しいと考える。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---